

**Population** 人のうごき (福智町の人口)

- 人口 25,474人  
前月比-31人  
前年比-344人
- 男性 12,055人  
●女性 13,419人  
転入 35人・転出 55人  
出生 12人・死亡 23人
- 世帯 11,191世帯  
前月比+1世帯  
前年比+22世帯  
※平成21年10月末現在(住民基本台帳人口)



お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長  
― 弔電はひかえさせていただきます ―

**Tax** おさめて安心 (税の納期限)

- 国民健康保険税 [6期] 12月25日金が納期限です
- 固定資産税 [4期] 12月25日金が納期限です

**Event** テクホー net (近隣の催し)

**【添田町】**

**ビリーバンバン**  
コンサート

平成21年12月22日(火) 入場料/ ¥3,000 (18歳以下 ¥1,500)  
18:00 開演 / 18:30 開演  
会場 添田町オーケストラホール ☎ 82-2559

“世界で最も長く活動を続けている兄弟デュオ”が、40年間の名曲の数々をお届けします。  
☎ 添田町オーケストラホール ☎ 82-2559

**【田川市】 石炭・歴史博物館企画展「筑豊いまむかし」**  
期間：12月13日(日)まで 月曜休館  
(田川市石炭・歴史博物館 第2展示室)  
筑豊の炭鉱全盛期の様子やボタ山、鉄道、町並みなど懐かしい写真450点を、現在と対比させながらご紹介。記憶をつたい“かつての筑豊”にタイムスリップしてみませんか。  
☎ 田川市石炭・歴史博物館 ☎ 44-5745

Medical health

保健の掲示板

12月16日から1月15日までの保健事業日程

- **12月16日** ⑥【7~8か月児健診】  
7~8か月児を対象(個人通知します)  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00~14:00
  - **12月25日** ⑥【健康相談】  
健診結果や介護など相談希望者を対象  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:30~15:30
  - **1月13日** ⑥【4~5か月児健診】  
4~5か月児を対象(個人通知します)  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00~14:00
  - **1月13日** ⑥【乳幼児相談】  
2か月児と、身体計測や育児相談などの希望者を対象  
[会場] コスモス保健センター [受付] 14:30~15:00
  - **1月14日** ⑥【ポリオ(小児マヒ)予防接種】  
3~18か月児を対象(7歳5か月まで接種可)  
[会場] 方城保健センター [受付] 13:20~14:20
- ※金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターにお問い合わせください。各保健センターなどで、ご希望に応じた予約制の健康相談を実施いたします。
- **「麻しん・風しん予防接種」は接種期間内に受けましょう!**  
麻しん・風しん予防接種は、期間内であれば無料で受けられます。協力医療機関など、詳しくはお問い合わせください。  
接種期間：平成22年3月31日(金)まで  
対象：第1期▶生後12か月から24か月未満  
第2期▶年長児(小学校入学前年)  
第3期▶中学1年生 第4期▶高校3年生
- ☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

Holiday clinic

【田川地区休日救急医療センター】  
年末年始も診療いたします!

診療日：12月31日(木)~平成22年1月3日(日)  
受付時間：【外科】9:00~11:30、13:00~16:30  
【内科・小児科】上記の時間+18:00~22:30  
場所：田川メディカルセンター(田川市石炭・歴史博物館横)  
☎ 田川地区休日救急医療センター ☎ 45-7199



保険証を忘れずに!

子どもの“どもり”気になっていませんか?

言葉がどもることを「吃音」といい、言葉の発音が著しい2歳~5歳の子どもの約5%みられるとされています。ほとんどの場合は自然に治るので、過度に心配して子どもに緊張を与えないよう「吃音」について正しく知っておきましょう。



ほとんどの場合自然に治る

吃音の症状は主に「ぼ、ぼ、ぼ、ぼ、ぼ」など言葉の一部を繰り返すもの、「きーのうね」など最初の音を引き伸ばすもの、「……きのうね」など言葉を引っ張るもの、もつまつしてしまうものがあり、女の子よりも男の子に多いといわれています。幼児期の吃音は、周囲の人が適切な対応さえすれば大部分の子どもの場合は自然に治ってしましますが、吃音の原因はまだ十分に解明されておらず、治療法も確立されていません。

無理に治そうとしないこと

「もつ一度いつてごらん」「ゆつくり言つてごらん」というのは、本人を助けるつもりで言っているつもりでも、本人にとっては「あなたの話し方は良くない」と言われていると感じてしまい、その結果、話すことを嫌がってしまうようになることもあります。周囲の大人は、本人のためと思って無理に治そうとするのではなく、次の4つに気をつけながら、子どもが安心してゆつたりと生活できるように周囲の環境を整えて自由にしゃべらせ、子どもの自信を育てていくことが大切です。

- 1 吃音を注意したり、言い直させない。
- 2 話は最後までゆつくりと聞いてあげる。
- 3 せかさず、本人が言いたいことを先取りして言わない。

吃音はひとつの個性

子どもは自分の話し方が違うのを意識したり、友達にからかわれたりして、周囲の大人に相談してくることがあります。そのときは「話したらいいんだね、よく分かってるよ」と応じて、それでいい。吃音でも大丈夫。というメッセージをしっかりと伝えましょう。

吃音のまねをしたり、からかわたりしない。

吃音のことを、話題にもしないほうがいい。と誤解している大人は、子どもが相談してきた時にあわてて話をはぐらかしてしまうことがあります。しかし話を聞いてもらえなかった子どもは「この話は大人が嫌がるんだ」、「言つてはいけないことなんだ」と思うようになり、「言つてはいけないもの(吃音)を持っている自分はダメ」という否定的なイメージを持つてしまうのです。結局、親が気にしないようにして、吃音のことに触れないようにしていることで、子どもはどんどん孤立してしまつていくのです。

吃音がある人も、教師や弁護士、アナウンサーなど、話すことの多い職業で活躍する人はたくさんいます。吃音は話し方の特徴であり、その人の持つ個性のひとつ。吃音があるうとならうと、子どもの良さを認め続けて、自信を育てあげることが大切です。

予約制

どうしても心配になったら…  
● 専門士の個別相談実施中  
コスモス保健センターでは、就学前のお子さんを対象に、言語聴覚士による予約制の個別相談を実施しています。ご希望のかたは保健師までご連絡ください。  
● ☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

